9095

NAPOLEX

電波時計+温度計+電圧計

VTメータークロック

取扱説明書

F 10011011

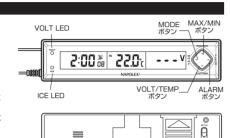
このたびは、**VTメータークロック**をお買上げいただき、ありがとうございます。最良の状況でご使用頂くために必ず、『取扱説明書』を最後までお読みください。また、『取扱説明書』は常にお手元に置くことをおすすめします。お読みになった後も、この『取扱説明書』は大切に保管してください。

1 各部の名称及び機能

◎MODEボタン
・通常表示・アラーム表示・カレンダー表示の切替えに使用します。
・マニュアル時刻セットへの切替えとマニュアル時刻セット時のセット箇所変更に使用します。

◎MAX/MINボタン
・最高・最低温度の表示を切替えるときに使用します。
・最高・最低温度の記録を消去するときに使用します。

◎VOLT/TEMPボタン
・温度と電圧の表示を切替えるときに使用します。

◎ALARMボタン
・アラームが鳴っているときに音を止める為に使用します。
・アラーム、スヌーズのセット・解除に使用します。
・凍結警告モードセットに使用します。
・電圧計の電圧警告音が鳴っているときに音を止める為に使用します。

◎ブルー・オレンジ切替えスイッチ
・バックライト色の切替え時に使用します。

◎RESETスイッチ
・標準電波の受信がうまく行なわれないとき、時計が機能不全に陥った時などに、初期状態に戻す為に使用します。このスイッチを押すときは、細いピンを利用します。

2 液晶表示の説明

通常表示
時　分　秒　電波受信インジケーター　内気温表示　最高温度表示　内気温度 摂氏表示(℃)　電圧表示　電圧インジケーター

アラーム表示
アラーム セット表示　凍結警告 モード表示　最低温度表示　アラーム時刻 スヌーズセット表示　アラーム モード表示　外気温表示

カレンダー表示・内外温度同時表示
月　日　曜日　内気温度 摂氏表示(℃)　外気温度 摂氏表示(℃)

3 電池の入れ方及び交換方法

1.本体裏面の電池蓋を押しながらスライドさせて取り外します。

2.電池(CR2032)を図のように+を上にして入れ、電池蓋を元に戻します。

3.製品を初めて使用する時は、電池ケース内にある絶縁シートを取り外してください。

注意 電池の±を間違えないようにご注意ください。

注意 使用済みの電池は、地方自治体の指示に従って、速やかに廃棄してください。

参考 交換用電池(CR2032)は、電器店や時計店でお買い求めください。

4 電池を入れた後の動作

◎電波時計
1.電池を入れると時計が動き始めます。

2.電池を入れてから約8秒後に**標準電波の受信を開始します**。受信中は、電波受信インジケーターがその受信強度に応じて点滅し、電波の受信感度が分ります。受信感度が最大になる場所で受信してください。
(電波受信インジケーターの説明は 5 電波受信インジケーターの説明 を参照ください。)
受信を行う際には、移動しないでください。完了までに6〜12分かかります。

3.電波を正常受信完了すると表示が現在時刻に変わります。電波受信インジケーターが の表示になります

◎温度計
1.電池を入れると測定を開始し、現在温度に変わります。初期設定は摂氏(℃)を表示します。

◎電圧計
1.カー(電源)プラグを入れると電圧の測定を開始し、現在電圧に変わります。

標準電波受信作業中の電圧/内外温度表示について

受信作業中にカープラグの抜き差しやエンジンの始動を行うと電圧表示が「- - -V」状態から変化しない、あるいは電圧/内外温度表示が更新されない状態となりますが、製品の異常ではありません。

本製品は標準電波受信作業中は電池の消耗を抑える為に、電圧計及び内外温度計の表示更新は行いません。標準電波の受信作業が完了する6〜12分後に現在の電圧/内外温度の表示を行います。

早急に電圧及び内外温度を確認したい場合は、 7 手動時刻設定の方法 を参照し手動時刻設定を行ってください。手動時刻設定を行うことで、標準電波の受信作業が解除され、電圧及び内外温度が現在表示に更新されます。

5 電波受信インジケーターの説明

1.受信電波が弱く、受信感度が時刻設定に不十分な場合
2.受信電波が時刻設定に必要な受信感度がある場合
3.受信電波が時刻設定に十分な受信感度がある場合

4.通常表示のとき、このマーク が表示している場合は、前回の定期受信で標準時刻電波が受信できており、消えている場合は、受信ができていません。

6 取付方法

本製品は、取付場所により、取付ステーを時計本体の上部に取り付ける方法と下部に取り付ける方法の2種類が選択できます。(図3)時計が見やすい位置を選択し、取付場所に応じて取付方法を選択してください。(図1)

◎時計本体
1.**取付ステー(表面)**に両面テープの保護紙をはがして貼り付けます。(図2)

2.取付場所を定め、図3を参考にしながら取付ステーを本体に取り付けます。上部に取り付ける場合、図の 丸部を少し折り曲げてから本体に差し込んでください。

3.取付場所を定め、その場所で時計が見やすい角度に取付ステーを曲げます。

4.取付ステーの両面テープの保護紙をはがして取り付けます。

◎外気温度センサー
1.外気温度センサーの取付場所は、エンジンの熱や、直射日光、雨、風などによる温度への影響がなく、外気にふれる場所選び、外気温度センサーの粘着シートの保護紙をはがして、貼り付けてください。(図4)

注意 温度は取り付けた場所の測定値ですので、あまり不自然な温度を表示する場合は場所を変えてください。

注意 貼り付けの際、時計本体の取り外しに支障が無い事を確認してください。

注意 取付場所のほこり・汚れ・保護つや出し剤などを中性洗剤でよくふき取り、洗剤成分が残らないように水ふきして完全に乾かしてから貼り付けてください。

注意 両面テープは貼り付け後24時間を経過しますと粘着力が最大になりますので、すぐに荷重をかけないでください。また、貼り直しは粘着力の低下を招きますのでお避けください。素材をいためる恐れがあるので、本革・木部・布地には貼り付けないでください。

警告 取付ステーは何度も曲げたり伸ばしたりすると折れる場合があります。

警告 外気温度センサーのコードは、誤差補正された長さになっていますので、余っても切断せずにご使用ください。

(図1)
(図2) 凹部　凸部　両面テープ　取付ステー(表面)　取付ステー(裏面)
(図3) 少し折り曲げる　凸部　上部　時計本体　下部　凸部
(図4) (例)ドアミラー下など

取付場所 参考例

7 手動時刻設定の方法 (マニュアル時刻セット)

海外などJJY電波送信圏外で普通のクォーツ時計として使用したいとき、また、電波の受信感度の良くない所で受信操作をしても受信ができないときなどには、手動で時刻をセットできます。

1.「MODE」ボタンを「時」の表示が点滅するまで、2秒以上押してください。

2.「MAX/MIN」ボタンを押して所定の時刻に「時」を設定します。

3.その後、「MODE」ボタンを押すと点滅の表示が

「時」
↓
「分」
↓
「秒」
↓
「12h/24h」
↓
「年」
↓
「月」
↓
「日」
↓
通常表示

と、切替わりますので、それぞれの位置で「MAX/MIN」ボタンを押して所定の時刻、日付に設定します。
(曜日は上記内容を設定すると自動的に替わります。)

4.設定をし直す場合は1.の操作から繰り返してください。

「時」設定時　「分」設定時　「秒」設定時　「12h/24h」設定時　「年」設定時　「月」設定時　「日」設定時

8 アラーム時刻の設定

1.**通常表示**の状態で、「MODE」ボタンを1回押すと、アラーム表示に切替わります。

2.その状態で、「MODE」ボタンをアラーム表示の「時」の表示が点滅するまで、2秒以上押します。

3.「MAX/MIN」ボタンを押して、所定の時刻に「時」を設定します。

4.「MODE」ボタンを押すと、「分」の表示が点滅に切替わります。

5.「MAX/MIN」ボタンを押して、所定の時刻に「分」を設定します。

6.設定が終了したら、「MODE」ボタンを押します。

9 アラームの設定

1.**アラーム表示**の状態で、「ALARM」ボタンを押すと順次 のマーク、Zzマークが現れます。
のマークのみのときは、アラーム設定、 のマークと Zzマークのときは、スヌーズアラームです。

[アラーム設定時]

アラームは約1分鳴り続けます。アラーム中に「ALARM」ボタンを押すと鳴り止みます。

[スヌーズアラーム設定時 Zz]

スヌーズアラームは、約1分間鳴り続けます。アラーム中に「ALARM」ボタンを押すと鳴り止みますが、アラーム時刻の5分後に再度鳴り、トータルで3回これを繰り返します。

10 カレンダー表示の切替

1.**通常時刻表示**の状態で、「MODE」ボタンを2回押すと、カレンダー表示に切替わります。
カレンダー表示は約30秒後に通常表示に戻ります。

カレンダー表示

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
MO	TU	WE	TH	FR	SA	SU

11 温度表示について

1.測定温度が 19 製品仕様 の表示範囲外の場合、「LO」または「HI」が表示されますが異常ではありません。

2.製品本体の周囲温度が−10℃以下の場合、何も表示されない場合があります。また、周囲温度が70℃を越える場合、表示部が黒くなりますが、温度が下がると通常の表示に戻ります。
あらかじめご了承ください。

12 最高・最低温度表示

1.「MAX/MIN」ボタンを1回押すと、MAX マークが現れ、内気温度の最高が表示され、約30秒後に自動的に現在温度の表示に戻ります。

2.「MAX/MIN」ボタンを2回押すと、MIN マークが現れ、内気温度の最低が表示され、約30秒後に自動的に現在温度の表示に戻ります。

最高温度表示

最低温度表示

13 最高・最低温度の記録消去

・最高・最低温度の記録を消去したい場合、**通常表示** の状態で、最高最低温度表示中に「MAX/MIN」ボタンを約3秒押してください。ビープ音と共に記録が消去され約30秒後に現在の温度表示に戻ります。

注意 消去してしまうと、それまでの記録を表示することはできません。

14 温度表示・電圧表示の切替

・「VOLT/TEMP」ボタンを押すと表示が、

「内気温度」+「電圧」
↓
「外気温度」+「電圧」
↓
「内気温度」+「外気温度」

と、切替わります。

15 凍結警告モードの設定

■凍結警告モードの切替

・**アラーム表示**又は**通常表示**の状態で、**「外気温度」+「電圧」**又は **「内気温度」+「外気温度」**が表示されている時「ALARM」ボタンを約3秒押すとALERT マークが現れ、凍結警告モードに切替わります。

・外気温度が+4.9℃〜−1.9℃の時に、ICEマークのLEDが赤く点滅し、警告音が約1分間鳴り続けます。警告音が鳴り終えた後もICEマークのLEDは点滅し続けます。外気温度が+4.9℃〜−1.9℃の状態が続いた場合、約30分後に再度、警告音が鳴り、正常値になるまでこれを繰り返します。

■凍結警告音の解除

・警告音が鳴っている時に「ALARM」ボタンを押すと警告音が鳴り止みますが、ICEマークのLEDは外気温度が+4.9℃〜−1.9℃の間は点滅し続けます。

■凍結警告モードの解除

・凍結警告機能を解除する場合、**「ALARM」**ボタンを約3秒押すとALERT マークが消え、凍結警告機能が解除されます。

注意 凍結警告モードは**「内気温度」+「電圧」**が表示されている場合は設定できません。
14 温度表示・電圧表示の切替 を参考に表示の切替えを行ってください。

注意 警告音の作動と実際の路面状況が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

16 電圧計の表示

14 温度表示・電圧表示の切替 を参考に電圧計表示の切替えを行ってください。

表示部に電圧とバッテリーの状態を示すアイコンが表示されます。バッテリーの電圧をチェックする場合は、エンジンを停止させてください。(キーをACCにするなど、シガー(電源)ソケットに12V電源が通じている状態にしてください。)バッテリーへの充電状況をチェックする場合は、エンジンをアイドリング状態にしてください。電圧の状況により、以下の警告がなされます。

電圧表示	エンジン		電圧インジケーター	LED	アラーム
	停止	アイドリング			
『---V』 (9.0V以下)	完全放電	充電不可	無表示	消灯	無し
9.1〜11.5V	弱	充電不可	(0目盛)	点滅	鳴る
11.6〜11.9V	弱	充電不可	(1目盛)	消灯	無し
12.0〜12.4V	普通	弱充電	(1目盛)	消灯	無し
12.5〜12.9V	良好	弱充電	(2目盛)	消灯	無し
13.0〜15.9V	優良	通常充電	(3目盛)	消灯	無し
『HI』 16.0V以上	過充電	過充電	(3目盛)	点滅	鳴る

電圧が9.0V以下時に電圧表示が『---V』になります。電圧が9.1〜11.5V及び16V以上時、VOLT LED点滅し、警告音が約1分間鳴り続けます。
警告音が鳴り終えた後もVOLT LEDは点滅し続けます。又、電圧が9.1〜11.5V及び16V以上の状態が続いた場合、約30分後に再度、警告音が鳴り、正常値になるまでこれを繰り返します。

■電圧警告音の止め方(完全解除出来ない仕様となっております)

・警告音が鳴っている時に「ALARM」ボタンを押すと警告音が鳴り止みます。警告音が鳴り終えた後もVOLTマークは正常値になるまで点滅し続けます。

注意 電圧表示を選んでいない場合でも警告は行われます。

注意 走行中など電圧変動で警告音が鳴る場合がございます。

参考 車のキーをOFFにする時など、12V電源が切られる際にアラームが鳴る場合がありますが、異常ではありません。

17 ヒューズの交換方法

1.カープラグ頭部を回して管ヒューズを抜きます。(図5)
2.新しい管ヒューズをカープラグ内に入れ、カープラグの頭部を締め込みます。

注意 1A管ヒューズは、同種のものをお買い求めください。

注意 1A以外のヒューズは絶対に使用しないでください。
頭部を外す際はスプリングなどが飛び出すことがありますので、紛失しない様ご注意ください。

カープラグ　1A管ヒューズ (30mm長)
(図5)

18 注意事項

1.電波時計は、標準電波を受信して時刻を補正する時計です。電波を受信しやすい場所に時計を置いてください。下記の場所では電波が受信しにくい場合があります。
① ビルの地下駐車場等、周囲をコンクリート等で囲まれた場所
② 高圧線、テレビ塔等、強い電波を出す施設の付近
③ 移動中の車、電車等の中
④ その他ラジオの受信ができない場所など

2.標準電波送信が停波の時は受信できません。
3.液晶表示が薄くなってきた場合、電池の消耗が考えられます。速やかに電池を交換してください。
4.温度測定用のセンサーは樹脂でカバーされているので温度が安定するまで多少時間がかかります。

19 製品仕様

■電波時計機能

1. 受信電波 : 長波JJY(標準電波)
2. 受信周波数 : 福島長波局 (40kHz)・九州長波局 (60kHz)
3. 使用電池 : CR2032
4. 電池寿命 : 約1年(1日に受信4回、アラーム1回として)
5. 自動受信 : 4回/日
6. 時間精度 : 標準電波が受信できている場合　表示精度:±1秒
   標準電波が受信できなかった場合　平均月差:±30秒
7. 表示機能
   ①時計表示 : 時 分 秒　12時間(午前/午後表示)/24時間
   ②カレンダー表示 : 西暦/月 日 ・ 曜日
   ③電波受信表示 : 受信電波インジケーター(受信レベル4段階表示)
8. アラーム : アラーム音持続時間 1分間・スヌーズ時間 5分間(合計3回繰り返し)

■温度計機能

1.温度表示範囲 : 内気温度計 : −20℃〜50℃
　: 外気温度計 : −50℃〜70℃
2.温度精度 : 内気温計 : ±1.5℃以内　外気温計 : ±2.0℃以内
3.分解能 : 0.1℃
4.温度測定周期 : 8秒
5.凍結警告温度 : +4.9℃〜−1.9℃ (外気温度のみ)

■電圧計機能

1.使用電源 : DC12V (カープラグより入力)
2.表示範囲 : 9V〜16V
3.分解能 : 0.1V
4.測定精度 : ±0.5V
5.警告電圧 : 11.5V以下および16V以上

株式会社 ナポレックス
〒124-0001 東京都葛飾区小菅2-6-22 TEL (03) 3602-7311
ホームページ : http://www.napolex.co.jp

100111011